

令和4年度 第2回 北浜南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 6月6日（月） 13時から16時まで
- 2 開催場所 北浜南小学校 3階会議室
- 3 出席委員 三浦 うた子、波多 信広、永瀧 利佳、島尾 智砂子、森田 正幸
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 松本 昌之（校長）、中谷 佳主枝（教頭）、白鳥 直樹（教務）
無州 潤（CS担当、5年主任）、山下 美波（CS担当）
東条 美里（1年主任）、佐藤 彩香（2年主任）、平野 善江（3年主任）
水村 優子（6年主任）
鈴木 利江子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 利江子
- 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数5人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）ソフトボール投げ指導について

議長から前回の会議以降、何か情報があったかの問いかけがあり、委員から以下の発言があった。

- ・ 特に話しは進んでいないが、学校の方で日程、候補日挙げてほしい。いつでも声掛けはできる。 (波多委員)
- ・ 実施の方向でいいか。 (三浦委員)
- ・ 是非やっていただきたい。日程を詰めて波多委員へ連絡する。 (中谷教頭)
- ・ 何年生を対象とするのか。前回は低学年対象だったが、中学年でやった方が、ぐっと記録が伸びていくのか。 (三浦委員)
- ・ 希望日が出た時に、どの学年でやるのか指導者に相談してみる。 (波多委員)

- ・ 指導時間、一回に何人やれるか、何人来ていただけるのか確認してほしい。特別に日程くめるので先方の都合に合わせることは可能。 (中谷委員)
- ・ 先に先方へ来れる日を確認してみる。だいたいの期間とできない日を挙げてくれると助かる。 (波多委員)
- ・ 教頭先生と連携してすすめていく。 (三浦委員)
- ・ 追伸で、大学生とコラボしていた走り方教室は今年も無理だった。
この近隣だとユタカ技研があり、また箱根駅伝経験者もいる。走力に関しても地域の中でお願いできそうなところがあれば情報として挙げてくれるとありがたい。 (三浦委員)

(3) 授業参観を通して

授業参観を終え、委員より以下の発言があった。

- ・ 先生の声が大きく笑顔で話していた。笑顔が子供たちに安心を与えている。授業の準備をすごくしていると感じた。子供たちの遊び心を引き出そうとする姿勢がみれた。子供たちが一番学ばなければいけないことは考える力。最終的には自分で判断する力が育ってほしいと思っていたので、小学校のころから、そういうことを念頭に置いて授業しているところがよかった。 (森田委員)
- ・ 昨年より今年の方が明るいと感じた。子供たちも授業に集中していた。タブレットはただ端末をさわるだけではなく、みんなの意見がすぐ反映されて一度に見れるという利点がわかりよかった。 (島尾委員)
- ・ マスクをしていることの弊害というか、声が小さかったり、発音がちゃんとしていないと先生にも友達にも声が届かない。おなかの底から声をだすことができない。運動不足による腹筋、体幹のなさがでてきてしまっていると感じた。板書をノートにかく様子を見てみると、ものすごく個人差があり、先生方の大変さを感じた。書く、話すことはとても大事だとつくづく感じた。先生方の声は大きくて抑揚もあり聞きやすかった。なにより先生方の字がとてもきれいで素晴らしいと思った。 (永瀧委員)
- ・ 皆さんからの感想にもあったが、昨年とは教室の雰囲気は全然変わりよくなった。マスクをしていたにせよ、昨年よりも明るく声もおるようになっていて、だんだんいい方向に向かっていると感じた。タブレットを以前よりだいぶ使いこなしていた。大きいスクリーンで共有できるのがいい。情報社会にむけてのスピードがすごいと感じた。 (波多委員)
- ・ まず、児童数が30人を超えている教室と30人以下の教室があり1年生は30人なのでもう少しゆとりをもった人数でやれたらいいと思った。皆さんがおっしゃったように昨年度より明るくレベルアップしていると感じた。板書がとてもきれいだった。いくらITが進んでもパソコンで打った字と先生方のあたたか味のある字では全然ちがう。子供の心に字は響いていくのではないかと思う。レベルアップのためにも板書だけの研修があってもいいのでは。今すごくいいので、このレベルを落とさないようにやってほしい。
IT授業は大変だけど先生方はとてもがんばっている。どの教科にも取り入れていた。しかしタブレットをやっている時間が長ければ長いほど視力は落ちている。視力がとても心配。子供たちの姿勢が気になった。1時間のうちに1回はピシッとする時があってもいいのでは。授業を始める時と終わる時に1度姿勢を正すというメリハリをもってもらいたい。

聞く、書く、話すことのバランスもぜひ考えていってほしい。

児童のノートがとてもきれいだった。日々の積み重ねだと感じた。とてもいい授業をみさせてもらった。 (三浦委員)

- ・ 1年生は人数を半分くらいにするのがいいのではないかと思う。教育委員会の方で何か手だてはないか。 (森田委員)
- ・ 児童数に関しては浜松市は独自で30人学級25人を下回らないようになっている。国の基準よりは下げている。 (松本校長)
- ・ あまり下回っても切磋琢磨がなくなってしまうかも。 (三浦委員)
- ・ 友達をみつけられなくなってしまうという子もなかにはいるかもしれない。 (松本校長)
- ・ 1年生の指導で4月、5月に気を付けていることはあるか。 (三浦委員)
- ・ 昨年に引き続き1年生を受け持っているが、昨年度は25人、今年度は31人。5、6人の違いは大きいと感じる。31人いるので心配もあったが、今年の子供たちは人数が多いわりにとっても一生懸命がんばる子供が多い。給食の配膳も困った時には助け合い、がんばって給食も食べようとしている。要領をつかむのも早く、大変な部分もあるが子供たちに助けられていることもたくさんある。今年はいろんな園から来ている子供が多く、園によっていろいろな方針があるため、スタートがそろわない部分もあり、そこをそろえていくのが難しい。学習の指導というより生活面の指導が大変。しかし、教えたら教えただけ出来るようになるし、素直なのでどんどん吸収していく。だんだん出来るようになっていくのが1年生の魅力。やはり、人数は少ないなら少ない方が個別に支援もできるし、見とどけもできるので、30人より多いとなかなか大変な部分はあると思いつながりながら日々がんばっている。 (東条1年主任)
- ・ 2年生をみると成長がよくわかる。しっかり育てて2年生になっている。 (三浦委員)
- ・ 少し前までは5園くらいだったが、だんだん増えたのか、急に増えているのか、ここ近年で様子が変わってきているのか。 (波多委員)
- ・ 昨年は20園だった。ここ数年で増えてきている。 (白鳥教務)
- ・ 多種多様になればなるほど特色をださないと生徒を確保できないので、教育とは別のことまでやるようになり、子供本来の力が育たなくなっているように思う。そういう所が先生方が4月、5月大変。基本的なことがすぐ出来る子、出来ない子の差が広がっている感じがする。園の多さに驚いた。 (永瀧委員)
- ・ 園の授業料が無償化になり、いろんな園に広がっているのでは。 (森田委員)

(4) 各学年の地域との連携について

◎ 1年生 生活科 昔の遊び

- ・ けん玉・お手玉・だるまおとし等、昔から伝わる遊びを体験することで友達とのかかわりを増やしたり、地域の方々にやり方を教えて頂いたりすると幅が広がり、遊び方も増えていくかと思う。今の子供は遊び方を知らない子も多い。昔から伝わる遊びを繋いでいくことすごく大切だと思っている。そういうことで地域の方とかかわりが持てたらと思う。昨年は子供たちだけでやった。学年全部では出来なかった。クラスごとに間隔をとってちょっと体験するというような感じで終わってしまった。 (東条1年主任)

- ・ おとし、町ぴかで冬にかるたを作り、かるたとりを地域の方とやった。 (島尾委員)
 - ・ おとし町ぴかで作ったかるたを利用してやってみたらどうか。 (三浦委員)
 - ・ この時と同じ感じでいいのか。お手玉やけん玉がいいのか。 (島尾委員)
 - ・ 今後のコロナ状況によるが遊び道具はたくさんある。計画は冬だが、変更可能。
(東条1年主任)
 - ・ 秋口くらいがいいのでは。CSで声かけできるので先生方とコンタクトをとって進めていきたい。
(三浦委員)
- ◎ 2年生 生活科 町たんけん 野菜の育て方
- ・ トマト・きゅうり・なす・ピーマン・おくらの中から好きな野菜を1つ選んで育てている。さつまいもはみんな育てている。育てていくなかで分からないことを調べるのが1つの学習。それと野菜作りの名人から学ぶということも大事な機会。もし詳しい方がいればお願いしたい。それから町たんけんがあるので地域のことを教えてほしい。
(佐藤2年主任)
 - ・ 寺島の育成会では何回も寺島の子供たちを集めてたんけんをやっている。学校側でもかかわっているのでは。
(波多委員)
 - ・ 去年は4年生が神社等の説明をしてもらった。
(松本校長)
 - ・ JAの方でも得意な方がいるので問い合わせてみてもいいのでは。またダメなら他に声掛けするので。
(三浦委員)
- ◎ 3年生 総合 地域学習
- ・ 公共的な公民館とかでどのようにお世話になっているのかということやをさぐっていくのが目的。例年南部協働センターの方へ見学に行き、フォークダンスや茶道の体験をしたり、インタビューをしたりした。今年度も協働センターへお願いしやっしていきたい。
(善江3年主任)
- ◎ 4年生 総合 ユニバーサルデザイン
- ・ 去年は街中のアクトまで行ってユニバーサルデザインを探した。地域にあれば見学に行きたい。
(中谷教頭)
 - ・ やはり電車に乗って街中まで行くのが一番いろいろあるのでは。
(三浦委員)
- ◎ 5年生 総合 地域の防災
- ・ 防災について、1学期は校外学習で学び、2学期以降は地域の防災施設を見に行ったり、地域の危険な場所を見たり、これから自分たちに防災関係でどんなことが出来るのかというところまで広げながら防災について意識をたかめながら学習していきたい。地域に出るとき、防災について詳しい方がいれば話を聞いたり案内していただきたい。
(無州5年主任)
 - ・ やはり防災に関しては経験者の話を聞くのがいいと思う。ボランティアで行ったがぜんぜん意識が変わった。講師選び、講習選びは大切。
(波多委員)
 - ・ 浜松市の人なら紹介できる。
(三浦委員)
 - ・ 5年生を担当していた時、現地にボランティアへ行った教師の話を聞いたり、写真を見せてもらい意識が変わった。
(善江3年主任)
 - ・ 子供が同じ話をきいて、しばらく地震を怖がったが、地震に対しての防災意識がたかまっ

た。

(島尾委員)

◎ 6年生 総合 キャリア教育

- ・ 2学期になってから、自分の生き方にむけての学習。平成30年は保護者に募集をかけ
いろんな職業の方に来てもらい話をきいていた。今年度は地域の方でいろんな職業の方
に実際にふれてみるという学習をしたい。9月はじめから10月中旬にかけて保護者にも
募集かけるが、さまざまな職業があれば子供たちの目も広がり生き方も広がる。地域の方
で話をして下さり、実演してれる方を募集したい。(水村6年主任)
- ・ 郊外学習的なものなのか。(波多委員)
- ・ 学校に来て話してもらってもいいし、出向いてもいい。(水村6年主任)
- ・ どちらか決めてくれれば紹介できる。(波多委員)
- ・ 1時間は話を聞く日、もう1時間は出向いて体験し人とふれあう感じでもよい。これから
の自分をみつけられたらと思う。本やネットで調べるのではなく、生の声を聞くのが本当
に大きい。(水村6年主任)
- ・ 中学生は聞いて理解できるが、小学生は見た方がいいのでは。(波多委員)
- ・ 以前やった時その職業になるためにはどんな資格が必要か、あこがれだけでは職業は選べ
ないことがわかり、あこがれ+勉強が必要、努力が必要だということを知ってもらえた。
いろんな職業をみたり話を聞くのはいいことだと思う。(永瀧委員)
- ・ 学校のなかでどこに募集かけるか決めてもらい、うまく集まらなければ、声かけしてくれ
れば対応する。(三浦委員)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年6月6日(月)午後14時から授業参観後、3階会議室で開
催する旨の報告があった。